

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
15	山下いづみ（19）	<p>1. 富士山とエベレスト、世界に誇る山をつなぎ交流することについて</p> <p>今年10月、富士宮市で富士山とエベレストをつなぐプロジェクトの一環として、エベレストの山々や少数民族の暮らしを撮影した写真展が開かれた。富士山とエベレストを結び、将来的に国際交流を視野に入れた写真展で、当日は、在日ネパール国大使らが訪れ、日本語学校の生徒たちによるネパールの踊りなどが披露された。</p> <p>伊豆市在住の写真家の発案で、富士宮市、ネパール大使館の共催で行われた。日本一高い富士山と世界最高峰のエベレストの山を結ぶ国際交流は富士山の麓の自治体ならでは、他の自治体での開催も検討されている。富士山ネットワーク会議に所属する自治体、富士市、富士宮市、御殿場市、裾野市、小山町との連携も考えられるが、富士山にちなんだイベントや国際交流事業などで、富士山とエベレストをつなぐ写真展を進めてはどうか。</p> <p>2. 日本語ボランティアと受講生のマッチングについて</p> <p>在住外国人の生活支援の一つに日本語学習支援がある。日本語ボランティアが日本語学習を希望する外国人市民に教えている。日本語ボランティアと学習希望者がお互いに日程が合うことで大方進められている。しかし、近年では、出身国も様々で、家族単位で日本に来る人たちが多く、学習希望者も大人から子供までと幅広い。</p> <p>また、日本語習得レベルもいろいろで、同様に日本語ボランティアのキャリアも様々である。そこで、ボランティアの方々がより活動しやすくなるよう、また、希望者の日本語習得が円滑に進むように、日本語コーディネーターを導入して、日本語ボランティアと受講生のマッチングをしていくことが必要だと考える。</p> <p>そこで、以下質問する。</p> <p>(1) 今後、ますますニーズが多くなっていくと予想される日本語学習支援を今まで以上に有用にさせるためには何が必要だと考えるか。</p> <p>(2) マッチングに日本語コーディネーターを活用する考えはあるか。</p> <p>3. DV加害者対策に関する情報収集・調査の進捗状況について</p> <p>第三次富士市DV対策基本計画が令和4年度より開始された。加害者更生プログラムの調査・研究の取組を課題として挙げている。DV防止法第25条では、国、地方自治体に対して加害者の更生のための指導方法等の調査研究の推進に努めることを規定している。</p> <p>内閣府男女共同参画局から、令和2年度「配偶者暴力に係る加害者プログラムに関する調査研究事業」事業報告書が出ている。その中で加害者プログラムの試行実施を行い、その</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
15	山下いづみ（19）	<p>内容が公表されている。 そこで、以下質問する。</p> <p>(1) 富士市では、今までどのように情報収集を行い調査をしてきたのか。</p> <p>(2) 国で出された報告書や他自治体、民間の活動を参考に、加害者プログラム検討委員会の設置をしてはどうか。</p> <p>(3) DVを未然に防ぐ予防教育講座を展開してはどうか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
16	小沢 映子（27）	<p>1. 障害者権利条約の国連勧告を受けて～障害のある人の人権や自由は守られるのか～</p> <p>障害のある人の人権や自由を守ることを定めた障害者権利条約に基づき、国連の権利委員会による批准後初めての審査が行われ、今年9月9日に総括所見・改善勧告が公表された。中でも権利委員会が最も重視したのが第19条「自立した生活及び地域社会への包容」と第24条「教育」だ。障害のある人の強制入院や分離された特別な教育の中止などが求められている。法的拘束力はないが極めて重く、政府は対応を求められている。</p> <p>勧告書の第24条「教育」において、障害児が特別支援学校や特別支援学級に分離されることで通常の教育を受けにくくなっているとして懸念を表明し、障害児を分離する現状の特別支援教育の在り方を改めるよう日本政府に強く求めた。</p> <p>精神科病院の入院患者数は、厚労省の調査によると2020年はおよそ29万人、平均入院日数は277日とOECDの中でも突出しており、特異な状況になっている。勧告書の第19条では、精神科病院の強制入院を障害に基づく差別であるとし、自由を奪っている法令の廃止を求めている。そこで、国連の勧告を受けて、富士市での考えを伺う。</p> <p>(1) 国連が懸念を示すような障害児が特別支援学校や特別支援学級に分離される教育について、市としてはどのように考えているか。</p> <p>(2) 精神科病院への強制入院である医療保護入院の廃止について勧告されたが、市としての考え方を伺う。また、精神障害者の長期入院を避け、地域で生活するための支援体制について伺う。</p> <p>2. 医療的ケア児支援法が成立して状況は改善されたのか</p> <p>医療的ケア児とは、難病や障害で日常的にたんの吸引や人工呼吸器などが必要な子供たちのことを言い、推計で全国に2万人以上いるとされる。</p> <p>登校する際に保護者の付添いを求められたり、保育所などで預かってもらえなかったりするケースもあり、進学を諦めたり、進学先が限られたりするほか、家族も離職を余儀なくされるなどの課題が指摘されている。</p> <p>こうした状況を改善しようと、2021年6月、医療的ケア児支援法が成立した。</p> <p>支援法では、子供や家族が住んでいる地域にかかわらず適切な支援を受けられることを基本理念に位置づけ、国や自治体に支援の責務があると明記し、必要な対応を求めている。</p> <p>そこで、保育園、学校、こども発達センター、家庭等での医療的ケア児への支援状況と今後の課題について伺う。</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
17	萩野 基行（8）	<p>1. 新富士駅南地区土地区画整理事業による周囲の交通への影響について</p> <p>現在、新富士駅南地区において「富士市の玄関口にふさわしい市街地の形成を目指し、駅前広場及び幹線道路等の公共施設の整備と土地の区画形質の変更を行い、住民の生活向上と当該地域の秩序ある発展に寄与すること」を目的として、平成12年度より令和11年度にかけ、区画整理事業が進められており、富士市の新しい玄関口として、新たななにぎわい創出にも大変期待されている事業である。</p> <p>このような大きな事業に対し、市民からは期待とともに周囲に及ぼす影響を心配する声も耳にしている。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 区画整理区域内の路線配置が大きく変わることに伴い、周囲の交通の流れの変化をどのように捉えているか。</p> <p>(2) 交通の流れの変化に伴う既存路線の安全対策についてはいかがか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
18	鈴木 幸司（12）	<p>1. 都市交通を補完するシェアサイクル導入の可能性について 昨年、富士市自転車活用推進計画について一般質問した際、シェアサイクルの普及について「サイクルポートを複数箇所に設置する必要があるため、利用者の見込みや費用対効果を見極めた上で導入を検討する必要があると考えております。導入に当たっては、市民の皆様の日常的な交通手段や観光での利用に加え、ビジネスなどの利用の可能性も含め、公共交通事業者や関係機関等と連携し、検討してまいります」との回答を受けた。</p> <p>かつて富士駅－新富士駅間をワンコインタクシーでつなぐ実証実験も行われたが、導入には至っていない。先月、そうした短距離、いわゆるラストワンマイルを結ぶシェアサイクルのプラットフォームを提供しているオープンストリート社に直接話を伺った際、「富士市も視察に見えますよ」という話を耳にし、少しずつ検討が進んでいることを知った。昨年の質問から一年が経過し、富士市へのシェアサイクル導入可能性について、以下のように伺う。</p> <p>(1) 利用者の見込みや費用対効果についての研究結果はどうか。</p> <p>(2) ビジネスなどの利用可能性を含めた、公共交通事業者や関係機関等との連携及び検討はどのように進んでいるか。</p> <p>(3) サイクルポートなどのインフラは市で整備し、運営を民間に任せる上下分離方式で、富士市にもシェアサイクルを導入してはどうか。</p> <p>2. マイナンバーカードの健康保険証利用と、富士市立中央病院のさらなる利便性向上について</p> <p>マイナンバーカードを健康保険証利用することで、薬局等で受け取った薬の情報や特定健診結果などを医療機関・薬局で医師等と共有することができるようになった。個人の医療情報は、取扱いに特別な配慮が必要な情報であり、今までは安易に利用することができなかったが、デジタル技術を活用することで厳格な本人確認が可能になり、こうした健康医療情報を個人や医療機関で活用すれば健康寿命の延伸につながると期待されている。富士市立中央病院のさらなる利便性向上を期待し、以下のように伺う。</p> <p>(1) その普及状況が国の交付金配分にも反映されるマイナンバーカードの、富士市における普及はどの程度進んでいるか。</p> <p>(2) そのうち健康保険証としての利用を申し込まれている割合はどれくらいか。</p> <p>(3) 国民健康保険の資格証明書や、公費負担のある定期検査費等受給者証とマイナンバーカードの連携は可能か。</p> <p>(4) 資格証明書や定期検査費等受給者証を利用して受診する人に対しては、「料金後払い方式」の導入が望まれると思うがどうか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
19	笹川 朝子（7）	<p>1. 学校及び公共施設のトイレの洋式化について</p> <p>学校や公共施設のトイレの洋式化について、これまで複数回取り上げ改善を求めてきました。最初に取り上げたのは、平成28年6月定例会です。</p> <p>当時の学校トイレの洋式化率は平均32.9%（13.8%から82.8%）でした。多くの学校がトイレの3K（臭い・暗い・汚い）または5K（臭い・暗い・汚い・怖い・壊れている）状態でした。</p> <p>改修については、校舎の耐震化が終了したので、平成28年度から5年かけてトイレの洋式化率45%を目標に、とりあえず遅れているところは30%に引き上げていくとの答弁でした。</p> <p>学校のトイレ研究会理事の河村氏は、平成22年にトイレの改修前後に、「トイレについてあなたが普段感じていることは？」と題して、公立小学校5、6年生166人にアンケートを取りました。</p> <p>改修前では、「トイレの臭いが気になる」が152人、「トイレが汚れていることが多い」が134人、「トイレに行くのを我慢してしまうことがある」が75人でした。「トイレに行くのを我慢してしまうことがある」と答えた児童のうち、「トイレが汚くて臭うから」、「和式便器が嫌だから」、「人がいると恥ずかしいから」との理由が続きました。</p> <p>一方、改修後では、トイレを我慢した児童が2割減少したことから、トイレの汚さは子供たちの心理に影響することが分かりました。「ウンチをしているとからかわれる」という回答が、改修前は7人だったのが、改修後はゼロ人になり、トイレがきれいになると、からかわれることも少なくなることも分かりました。汚い密室で用を足すことで、「あいつは汚いところを利用している」という認識が同級生の間で生まれ、からかうという負の連鎖が生じているのです。トイレに行くことを我慢するのは「汚さ」が理由の1番だと報告されています。</p> <p>学校は子供たちが1日過ごす生活の場です。トイレを我慢すれば子供たちの健康に影響を及ぼします。</p> <p>また、同トイレ研究会が行った平成30年度全国公立小中学校教職員向けアンケートの結果、学校で施設改善が必要と思われる場所の第1位がトイレだったという報告も出されています。</p> <p>これまで、学校以外では、まちづくりセンター、市立体育館、都市公園などのトイレの洋式化を取り上げ、改善を求めてきました。</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
19	笹川 朝子（7）	<p>特に、高齢者にとって和式便器はとても大変です。災害時、避難場所では洋式トイレに長蛇の列ができ、いくらペットボトルの水を配っても水分を控える高齢者が多かったことを聞いています。</p> <p>なぜトイレにこだわるのか。それは、生きていくためにはとても大事な場所だからです。その観点から以下質問いたします。</p> <p>(1) 学校及び公共施設のトイレの洋式化についての見解を伺います。</p> <p>(2) これまで取り上げた学校、まちづくりセンター、市立体育館、都市公園などの改善状況と、今後の方向性について伺います。</p> <p>(3) トイレの洋式化が進んでいない中央図書館（隣接する分館を含む）及び富士川ふれあいホールの対策について伺います。</p>	市長 及び 教育長 担当部長